

「茅ヶ崎市行財政経営改善戦略（素案）」についてのパブリックコメント

実施結果

御協力ありがとうございました。

- 1 募集期間 令和5年2月21日（火）～令和5年3月23日（木）
- 2 意見の件数 28件
- 3 意見提出者数 4人
- 4 意見提出者年齢

| 年代 | 10代以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 不明 |
|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| 人数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 3人 | 1人 | 0人 |

5 内容別の意見件数

| | 項目 | 件数 |
|----|-------------------------|----|
| 1 | 戦略の内容、実施体制に関する意見 | 13 |
| 2 | 戦略の具体的な取組に関する意見 | 3 |
| 3 | 公民連携推進のための基本的な考え方に関する意見 | 1 |
| 4 | パブリックコメント手続きの実施方法に関する意見 | 3 |
| 5 | その他の意見 | 8 |
| 合計 | | 28 |

茅ヶ崎市 企画政策部 行政改革推進課 行政改革推進担当
連絡先 0467-81-7122
E-Mail gyouseikaikaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

(意見及び市の考え方)

■戦略の内容、実施体制に関する意見

(意見1)

案件のポイントに記されている『限られた経営資源の中で効率的かつ効果的に事業を実施していくため、……「茅ヶ崎市行政経営改善戦略」を策定します。』とあります。この戦略（効率的かつ効果的実施していくための）政策でを評価いたします。

ただ、いつの時代でもこのような内容（財政）（経営改善）を検討していると思います。その実践に期待します。

(市の考え方)

行財政経営改善戦略については、策定することがゴールではなく、本戦略に基づく取り組みを推進し、持続可能なまちの経営につなげていくことを目的としています。

本戦略の取組手法として、予算編成との密接な連携や、試行錯誤を繰り返しながら迅速に出来ることから順次取り組みを行うアジャイル型、取組内容に応じて庁内連携型・各課推進型の2つの手法を組み合わせるなど位置付けており、これらを推進することで、本戦略の実効性を高めてまいります。

(意見2)

今他のパブコメも同時に行なわれています。当然検討するとは思いますが、その内容も十分反映させて下さい。

特に「茅ヶ崎市職員の人材育成基本方針」「茅ヶ崎市デジタル化推進方針」等は当パブコメ素案にも記されておりますので、その反映・整合性を十分とって欲しいと思います。

(市の考え方)

本戦略と連携を図る方針として、「デジタル化推進方針」「公民連携推進のための基本的な考え方」「茅ヶ崎市職員の人財育成基本方針」を位置付けており、これらと連携を図りながら、取り組んでまいります。

(意見3)

市議会でも多々質疑があり、市も既に回答している部分が多いと思います。でも市としても1度この4年間をふり返り総括し当素案の再点検をして欲しいです。

それはこの4年間最も大切で困難・事業「財政再健」と言うか「財政健全化」に取り組んできたと思います。この取組を総括（市として）当「経営再健戦略」を計画してもらいたい。

(市の考え方)

「Ⅲ 策定に当たっての背景」において、これまでの本市における行政改革の取り組みの内容、成果と課題、これらを踏まえた総括と今後の方向性をまとめています。

令和2年度から4年度までを取組期間として実施した財政健全化緊急対策については、市の財政健全化と経営改善に一定の成果があがり、今後も財政健全化の視点を持って取り組むことが重要であることから、本戦略における経営改善推進方針の柱の1つに、財政健全化を位置付け、取り組むこととしています。

(意見4)

思いもかけない新型コロナウイルス感染症との闘い行財政をしてきたと思う。この対応についても「意見3」の内容等も含み種々困難がある中色々と工夫し対応してきたと思う。このこと等々も含み

もし成果が多い総括であれば当パブコメ素案「茅ヶ崎市経営改善戦略」の名称を変えたらとも思う。何か今までの行政が失敗が多くありそれを改善するようにも感じてしまう。一定の評価がされるならこの名称を変更することも必要ではと思う。

その名称たとえば「茅ヶ崎市行財政経営M V V戦略」とか「茅ヶ崎市行財政経営ビジョン戦略」とか「茅ヶ崎これからの行財政経営戦略」とか「……未来戦略」とか変更の必要もあるのでは？できたら日本語で…。または「……令和7年度目指す戦略」「……計画」とか

(市の考え方)

行政改革の取り組みは、終わりが無いものと考えています。課題を見出し、その解決を図ることを繰り返すことで、いつまでも持続可能なまちの経営につながるものと考えています。

現状の行財政経営には、常に課題と改善の余地があることを意識するため、行財政経営改善戦略の名称を付けています。

(意見5)

市議会では「3年ぶりに実施した予算となった」「今までの守りから攻の姿勢に舵を切る……停滞した市民活動……経済活動…が活気を取り戻し等々多々言われ、その質問と回答を生し「当戦略」の整合性を取り発展を望む。「なにしろ行政運営の方向が」大幅に変わると言えるので、未だ議会も終了してないと思うので

(市の考え方)

令和5年度からの茅ヶ崎市実施計画2025に位置付けた事業を実施するためには、事業を担う職員や、事業実施に要する費用が必要となります。

本戦略は、今実施している事業などの中から、こうした財源を生み出し、それらを新たな行政需要へ対応するための資源として活用することを目指しており、実施計画や予算と連携を図りながら、取り組みを進めてまいります。

(意見6)

先にも書きましたが「いつの時代でも」このような内容を検討してきていると思う。改善と言うなら何日時にどのように悪かったのか、そして何を今、変えようとしているのかもっと対比表等出し明確に記して欲しい。

(市の考え方)

各種方針や計画等を検討するにあたっては、これまでの取り組みを振り返り、成果や課題を分析した上で、次なる取り組みにつなげていくことが重要であると考えています。

本戦略においても、「Ⅲ 策定に当たっての背景」「Ⅳ 茅ヶ崎市を取り巻く状況」で、本市におけるこれまでの行政改革の取り組みをはじめ、取り組みを通じた成果と課題、取り組みの総括と今後の方向性をまとめるとともに、人口、財政状況、職員数の変化などを明確にしています。本戦略では、文章を中心とした表現となっておりますが、分かりやすい表現については、今後の取り組みにおいても工夫してまいります。

(意見7)

デジタル・少子高齢化等々の社会情勢もう少し説明し計画を立てて欲しい。ですから他のパブコメとの整合性と「市民の声・立法の声（議会）」声を十分反映してもらいたい。

(市の考え方)

本戦略の策定にあたっては、現在の社会経済情勢を適切に捉え、方向性を導き出す必要があることから、少子高齢化などについては、「Ⅲ 策定に当たっての背景」や「Ⅳ 茅ヶ崎市を取り巻く状況」において記載をしています。

また、本戦略の策定にあたっては、幅広い意見を聴取するため、茅ヶ崎市実施計画2025と合わせて展示型の自由意見提案会であるオープンハウスを実施したほか、パブリックコメントや議会からの意見聴取を行うための全員協議会を実施しています。

(意見8)

初めに戦略の説明をM V Vであるように書かれていることに驚いた。M V Vは目標設定などの支援ツールであって M V Vが戦略であるかのように言われても下手なコンサルに騙されているような感覚であった。

(市の考え方)

本戦略で目指すべき方向性を分かりやすく表現するため、M V Vを活用しています。

戦略の考え方としては、変革と創出を意識し、活力をもっていどみ続けることで、業務改善、意識改革がねづいた市役所と、さまざまな変革が市民サービスに広がるまちを目指し、持続可能なまちの経営につなげていくこととしており、これに基づき、経営改善推進方針と人財活躍推進方針を基に取り組んでいくこととしています。

(意見9)

何やら無理やり切り詰めた目標が掲げられていた。そんな簡単に切り落とせるものなのかと思うような感覚である。

(市の考え方)

令和2年度から4年度までを取組期間として実施した財政健全化緊急対策においては、歳出削減策、歳入確保策に取り組むことで、当初見込効果額を上回る成果をあげることができました。また、今後の歳入増加や、行政サービス向上も期待できる結果となっています。

こうした成果を継続するためには、定量的な評価手法を用い、取り組みの進捗管理を行うことが重要であるため、設定をした達成すべき目標に向けて、庁内一丸となって取り組んでまいります。

(意見10)

戦略の位置づけ(2)や体系(5)が何も決まっていない、これから担当部署が決めますなど効率化が感じられなかった。評価手法はあったものの役立つのか疑問である。もっと簡単にQC活動の方針展開でもした方が役立つと思われた。

(市の考え方)

本戦略の策定にあたっては、令和2年度から4年度までを取組期間として実施した財政健全化緊急対策での手法を継続することとしています。

財政健全化緊急対策においては、責任所管課を定めて、試行錯誤を繰り返しながら、迅速に「出来ること」から順次取り組み(アジャイル型の取り組み)を行った結果、短期集中での効果につながりました。

本戦略に取り組むにあたっては、その時々での社会的潮流や市民ニーズを着実に捉え、より成果につながるよう、取組手法等の検討を繰り返すことが重要であることから、戦略自体に具体的な取り組みを位置付けることはせずに、社会情勢を踏まえ、試行錯誤を繰り返しながら、迅速に「出来ること」から順次取り組みを行い、成果につなげてまいります。

(意見11)

MVV的に考えても ミッションは環境変化にも対応できる市民へのサービスの安定継続のような気持であるが、ミッションにつながるビジョンが単なるカットだけではミッションに辿り着けるのかもわからない。ミッションに辿り着けないバリューは単なる烏合ですね。多分原因は、前提の掘り下げが浅い点と思われる。環境変化のみ少子高齢化が進み財政も維持するのが困難としか書かれてしかおらず、どの部分をどのように改善するかを考えず 市の予算を切り詰めることだけで本当にいいのだろうか。予算を増やす(歳入を増やす)ための方策や、将来を見据え今後の重点分野に資源を集中し、どの部分を削減するのかなど、細かく見ていかないと市の運営自体がおかしくなると想像します。

(市の考え方)

ご意見のとおり、いつまでも持続可能なまちの経営といった Mission を実現するためには、削減だけでなく、削減した成果を、市民サービスに広げていく必要があるものと考えています。

「IV 茅ヶ崎市を取り巻く状況」において、前提となる本市の状況を分析した上で、経営改善推進方針の3つの柱と7つの重点取組項目を設定しています。ただ闇雲に削減を行うのではなく、変革を要するこれらの視点に基づき、取り組みを進めてまいります。

(意見12)

アジャイルで推進とか言われていますが アジャイルほど手間がかかります。大きな目標に向かって細かく修正しながら進むので安全といいますが、1サイクルごとに目標や完了基準の設定、反省、次の資源の確保、予算承認のための見積もり作業など絶え間ない手間は多大なります。

(市の考え方)

各種計画の実施にあたっては、進行管理と評価の仕組みが重要となることから、PDCAマネジメントサイクルによる取り組みが必要であり、本戦略の推進にあたっては、計画、実行、評価、改善を繰り返していくことを想定しています。

その上で、アジャイル型取り組みとして、社会情勢を踏まえ、試行錯誤を繰り返しながら、迅速に「出来ること」から順次取り組みを進めてまいります。

(意見13)

この戦略は、言葉遊びの部分が多く、本気が見えません。職員の高年齢雇用継続もあり大変とは思いますが、職員が長年、学習し育っていかなければ環境変化にも遅れるし、まして短期社員や派遣を増やすことでは経験や実績を積み重ねることもできない組織になってしまいます。短期社員や派遣さんの上であぐらをかいている様な職員がいるのであれば、これこそ対応を考えた方が良いと思います。

(市の考え方)

市で担うべき業務について、民間活力の活用や非正規職員の活用を図りながら、実施主体の最適化を図ってまいりました。非正規職員については、定例的なもので人的資源を必要とする業務等の中で、効率的かつ効果的な事務執行が期待される場合に、活用を図ってまいりました。引き続き、正規職員と非正規職員との業務の棲み分けを見直しながら、積極的に非正規職員の活用を図ります。また、そのことで、生み出される正規職員の人的資源を、正規職員が担うべき業務へしっかり配分することで、正規職員の能力向上等に繋がるものと考えております。

■戦略の具体的な取組に関する意見

(意見14)

朝知恵として簡単にDXの加速化とか書かれていますが、人への教育、DXにあった業務の流れの構築、ハード・ソフトの導入、そして情報セキュリティなどお金も時間もかかります。RPAも同様です。定型化の作業ならExcel VBAで十分です。

(市の考え方)

業務の効率化にあたっては、現在においても、業務内容や求められるスキル等を踏まえて、Excel VBAの活用等を図り、効率的かつ効果的な事務執行に努めているところであります。また、既存のツールを最大限に活用するだけでなく、より高い効果が見込める場合についてはRPAや新しい技術の積極的な活用を検討します。

ICTの導入にあたっては、他自治体での成功事例があるものや、実証実験等により効果が期待できるものについて、スピード感を持った費用対効果の検証やスモールスタートでの導入を行い、その都度、課題解決を図りながら、より成果につながるよう取り組んでまいります。

(意見15)

年間1千万ほどの予算が取れないから萩園センターを潰すのであれば、高給取りを1人カットすれば延長は可能と思う。

(市の考え方)

施設の見直しにあたっては、運営に要する費用や、利用状況、代替となり得る手段などを複合的に考え、取り組む必要があります。

引き続き、施設の見直しにあたっては、総合的な視点から分析を行うとともに、市民の皆さまのご意見を伺いながら、取り組んでまいります。

(意見16)

菟園に温水プールなどあるが 単に値段が高くなっただけで誰が儲けているのか疑いたくなる。(もし補助金を入れているのであれば本末転倒である)

(市の考え方)

本市においては、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応し、市民サービスの向上と効果的・効率的な施設管理による経費の縮減等が見込まれること場合には、公共施設に指定管理者制度を導入しています。

市民の皆さんを対象とした事務事業の実施主体は市に限らず、多様な担い手がさまざまな公共サービスを展開しています。市民ニーズの変化や、新たな行政需要に対しては、市が実施する必要性や、市以外の担い手の可能性を精査し、積極的に民間活力を活用し、引き続き事業実施主体の最適化に取り組んでまいります。

■公民連携推進のための基本的な考え方に関する意見

(意見17)

「公民連携推進のための考え方」も同じで 訳の分からぬ横文字やカタカナでそれらしく装ってはいるが 何をすれば実現できるのか お題とメリットみたいな図と祝詞では実現性が見えない。特に民間活力という言葉も 本当に活力があるのかさえ疑問に思う。

(市の考え方)

公民連携推進のための基本的な考え方については、「市民サービスの質の維持向上」「民間事業者のビジネスチャンスの創出」「市の生産性の向上」を目指すべき方向性に掲げています。

これらの実現に向けた具体的な取り組みとしては、まずはワンストップ窓口の設置と、民間事業者と市との交流の場となるプラットフォームの開設を行うことを想定しています。

こうした活動をとおして、民間事業者に本市の取り組みに興味を持っていただくとともに、市の課題を民間事業者と市が連携しながら解決を図る環境整備につなげてまいります。

■パブリックコメント手続きの実施方法に関する意見

(意見18)

(1) コロナ禍が過ぎようとしています。当パブリックコメントの説明会を実施して欲しかったです。(2) また、当パブコメのもパブコメの目的に沿って進めて欲しかった(3) その内容は別添のとおり

(別添)

このことについて—パブリックコメントの実施について—R5年2月—

・パブリックコメントの全般についても言えると思いますが、特に1月下旬～3月上旬のパブリックコメントについて

・種々のパブリックコメントを実施することは良いことと思います。しかし

①パブリックコメント意見募集のPR(啓発)をもっと十二分にそして解りやすく、そして市民が応募しやすく実施して欲しいと思います。

(市の考え方)

パブリックコメント手続は、計画の策定や条例の制定をはじめとした、市の基本的な政策等の決定過程において、市民の皆さまからご意見をいただける重要な市民参加の機会であると認識しています。

パブリックコメント手続の実施にあたっては市政情報コーナーのほか、市広報紙やホームページ、メール配信サービス、Twitter、市役所内デジタルサイネージの活用に加え、広報掲示板及び公共施設への掲示、まちぢから協議会連絡会を通しての周知等、様々な媒体や方法を組み合わせながら周知啓発しているところです。

また、「茅ヶ崎市行財政経営改善戦略(素案)」策定過程においては、展示型の自由意見提案会を開催するなどし、コロナ禍にあっても、より多くの市民の皆さまから広くご意見をいただくための機会を設けました。

(意見19)

それは

(1) 市広報掲載場所(欄)が一定でなく見逃してしまうおそれがあります。

(2) 記事(見出し含む)が自治推進課担当とあり内容を誤解したりし、(分)解りづらい。ほぼ同時(一部重なる)のパブコメなので添付しました(3) 当パブコメは他特にすべてのパブコメ(政策)とも関係してくると思いますので、提出期限が2月25日までもあり解りづらい、誤解してしまう。(4) 1月号に掲載してもよいパブコメもあったのでは(5) それ以上に市広報(ちがさき広報)に掲載されていないパブコメもあったと思う。それはどうPR(啓発)したのですか。

(市の考え方)

茅ヶ崎市市民参加条例においてパブリックコメント手続は、計画等の案が具体的に変わった段階で実施することを規定しています。この度、案件ごとに必要な手続、スケジュールを設定した結果、2月1日号への掲載といたしました。

広報紙作成にあたっては、多くの市政情報をより分かりやすく掲載するよう努めておりますが、紙面に限りがある中で、全ての記事を大きく掲載することが出来ません。その号に掲載する記事の内容に応じて、掲載する欄や量を総合的に整理することで、より多くの市政情報を皆様に認知していただけるよう工夫しております。

パブリックコメントの掲載については、広報紙上において、まずは実施中の案件を知っていただくため、案件をまとめて表記し、網羅的に確認できる形としています。今後につきましても、ご意見等も踏まえつつ、それぞれの内容や媒体に応じたわかりやすい情報発信に努めてまいります。

(意見20)

(6) 市の広報掲載パブコメは12件ですがある市議通信(チラシ)には14件と記載(件名記載)また「現在多くのパブコメ(パブリックコメント)募集」と記もあります。またある職員は14件ある市議16件?とも言っていた、どうなっているのですか

(7) また市議会で市議長に「こんなに短時間にこんなに多くの案件議論できないと発言(提言)があったとかどうなったのですか? (8) このことは市民からも意見が出せない出しにくいことにもつながりパブコメの意味(目的)がなくなってしまうことにもつながると思う (9) これまでもパブコメの応募少ないと思う パブコメの意味(目的)を失わないように実施して欲しい (10) パブコメに必要な制度です 改善・工夫し目的に沿うよう実施願う。(11) 図書館(市)等パブコメ(素案)資料十分置てなく不足資料もあったとか (12) パブコメ意見の回収漏もあったとか……以下省略

(市の考え方)

この度、各個別計画ごとに必要な手続、スケジュールを設定した結果、同時期に14件のパブリックコメント手続を実施することとなり、広報紙をはじめとした様々な媒体や方法を組み合わせながら周知啓発しました。

茅ヶ崎市市民参加条例におけるパブリックコメント手続とは、計画等の案が具体的に変わった段階で実施することが規定されており、月ごとの実施案件に制限を設けるなど、平準化を図ることは困難であると考えています。

一方で、同時期に14件のパブリックコメント手続を実施することから、各計画の概要等を把握いただけるよう、公共施設等の提出意見の受付場所において閲覧用資料として各計画の一覧表を配架していることや、「茅ヶ崎市実施計画2025(素案)」を含めた12件については、規定よりも10日間長く実施期間を設けることで、計画内容をご確認いた

だく時間や意見作成の時間を確保できるよう努めております。資料については、不足した際には補充をするなど多くの市民の皆さまにご意見をいただけるよう環境を整えております。

意見用紙の回収漏れに関しましては、今後このようなことがないように、パブリックコメント実施に係る意見用紙及び意見箱の取扱いに関する周知を行い、再発防止に努めております。

■その他の意見

その他 8 件の御意見をいただきました。